

令和7年度（2025年度）大分大学グローバル感染症研究センター
研究集会報告書

採択番号	2025M01	
申請者に関する事項	氏名	比企 直樹
	所属機関名	北里大学医学部 上部消化管外科学
	職名	主任教授
研究集会名	第17回日韓中腹腔鏡下胃切除セミナー	
開催期間	令和7年（2025年）6月7日	
本センター担当教員	衛藤 剛	
令和7年度（2025年度）研究集会の概要		
<p>内容：本セミナーは2006年に日本と韓国の胃癌低侵襲外科治療のエキスパートが集まり、大分大学がホストとして大分県別府市で初めて開催し、2013年からは中国が参加し、毎年各国の持ち回りで開催されている。2025年の本セミナーは日本がホスト国であり、大分市内のJ:COM ホルトホール大分で開催した。</p> <p>目的：日韓中3カ国間内での胃癌の予防、診断、治療に対する幅広い知見の情報交換と、胃癌に対する低侵襲手術の安全な普及・開発とエビデンスの創生についての相互理解と意見交換・情報収集を目的とした。</p> <p>成果：3カ国から約70名が参加した。5つのシンポジウムセッション（計25講演）と1つのパネルディスカッションが行われた。パネルディスカッションにおける国際共同研究の立案では、中国より免疫チェック阻害剤の癌集学的治療が候補として挙げられ、大分大学グローバル感染症研究センターが進めている癌集学的治療法開発（ウイルス療法）が協調できる可能性を示した。さらに韓国から周術期の腸内細菌変化の研究が挙げられ、今後本センターとの共同研究の可能性を示した。</p> <p>以上より、本セミナーは当初の想定以上の成果が得られたと考える。</p>		